

2009年3月期 第2四半期決算 説明資料

2008年11月7日

株式会社CSKホールディングス

- ・2009年3月期 第2四半期決算の業績概要
 - － 情報サービス事業の業績
 - － 金融サービス関連事業の業績
- ・2009年3月期 通期業績の見通し

<免責事項>

本資料は、業績およびグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、CSKホールディングス及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

(単位:百万円)

	'07/4-9	'08/4-9	前年同期比	増減率
売上高	125,321	102,869	△22,451	△17.9%
売上総利益	51,589	18,629	△32,959	△63.9%
売上総利益率	41.2%	18.1%	△23.1%	-
販売管理費	32,438	34,298	1,859	5.7%
営業利益	19,150	△15,668	△34,818	-
営業利益率	15.3%	△15.2%	△30.5%	-
経常利益	19,980	△14,621	△34,602	-
四半期純利益	12,083	△15,517	△27,601	-

(単位:円)

	'07/4-9	'08/4-9	前年同期比
1株当たり利益	163.89	△210.30	△374.19
1株当たり純資産	2,543.30	2,095.58	△447.72

2009年3月期 第2四半期決算のポイント

情報サービス事業： 売上は昨年同水準。先行投資やビジネスサービスの不振により減益

テクノロジーサービス： 金融機関の大型再構築PRJが牽引。情報サービスの受注残は+14%。

ビジネスサービス： 証券向けASP、テクニカルサポート、製品検証を中心に減益。

金融サービス事業： 金融機関の融資姿勢に変化は見られず、市場の不透明感は継続

不動産市場全体の売買高は低水準。複数案件の精算を目指すも、契約に至らず。

引き続き、流動性を重視したオペレーションを実施。資産査定は保守的に行う方針。

証券事業： 株式市況の影響により業績が低迷。

「リテール分野に特化」を新たな方針として掲げ、組織変更・営業強化等の具体的施策を推進中。

経営体質の強化を目指し、「コスト削減を徹底」。販売管理費を対前年比約12億円削減。

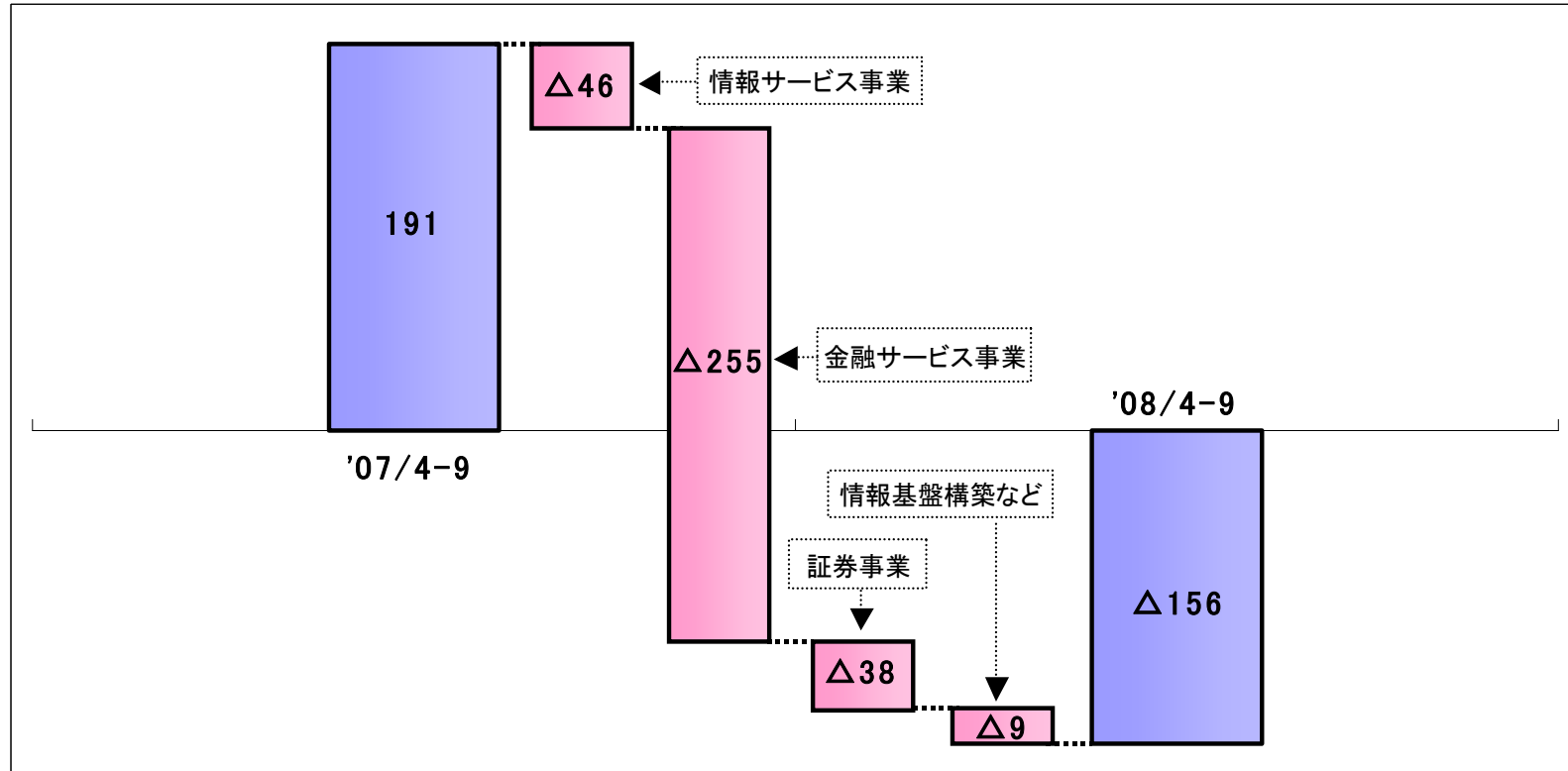
証券系ビジネス： 第3の事業の柱とすべく、証券総合プラットフォームの機能を整理・強化

コスモ証券を完全子会社化し、地域金融機関の経営サポートと証券リサーチ機能を有する

「金融経済研究所」を発足。CSKグループのノウハウ・リソースを融合させ、企業価値向上を推進。

営業利益の対前年同期比増減要因

(単位:億円)



販売管理費・営業外損益の内訳

(単位: 億円)

販売管理費	'07/4-9	'08/4-9	前年同期比	備考
人件費	152.6	160.2	7.5	新人増等
業務委託料	40.2	33.9	△6.3	コスモ証券でのコスト削減等
減価償却費	12.3	20.3	8.0	CSKホールディングス・コスモ証券での設備増加
家賃	25.9	28.6	2.7	営業拠点の拡大、単価の上昇等
その他	93.3	99.8	6.5	主な内容: レンタル料、研究開発費、通信費等
販売管理費 計	324.3	342.9	18.5	

営業外収益	'07/4-9	'08/4-9	前年同期比	備考
受取利息	2.2	0.6	△1.6	QUO会計方針変更により売上計上等
受取配当金	2.6	2.8	0.2	保有有価証券に係る配当金が増加
カード退蔵益	5.2	4.6	△0.6	プライベートカードの未使用見込分が減少
その他	5.7	7.3	1.6	主な内容: 家賃収入、助成金収入等
営業外収益 計	15.8	15.5	△0.3	

営業外費用	'07/4-9	'08/4-9	前年同期比	備考
支払利息	0.5	0.0	△0.4	売上原価への振替額増加
投資有価証券売却損	2.8	-	△2.8	保有有価証券の売却
退職給付引当金繰入額	1.3	1.3	0.0	会計基準変更時差異の償却額
転籍調整費用	0.8	-	△0.8	転籍に伴う給与調整額
その他	2.0	3.7	1.6	主な内容: 証券代行手数料、投資事業組合損失等
営業外費用 計	7.5	5.1	△2.4	
営業外損益 Net	8.3	10.4	2.1	

特別損益の内訳

(単位:億円)

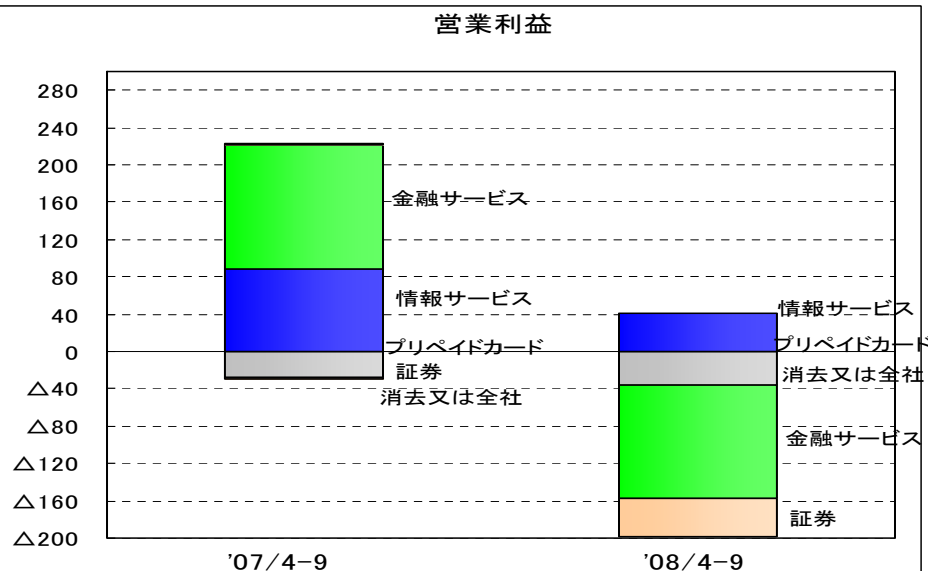
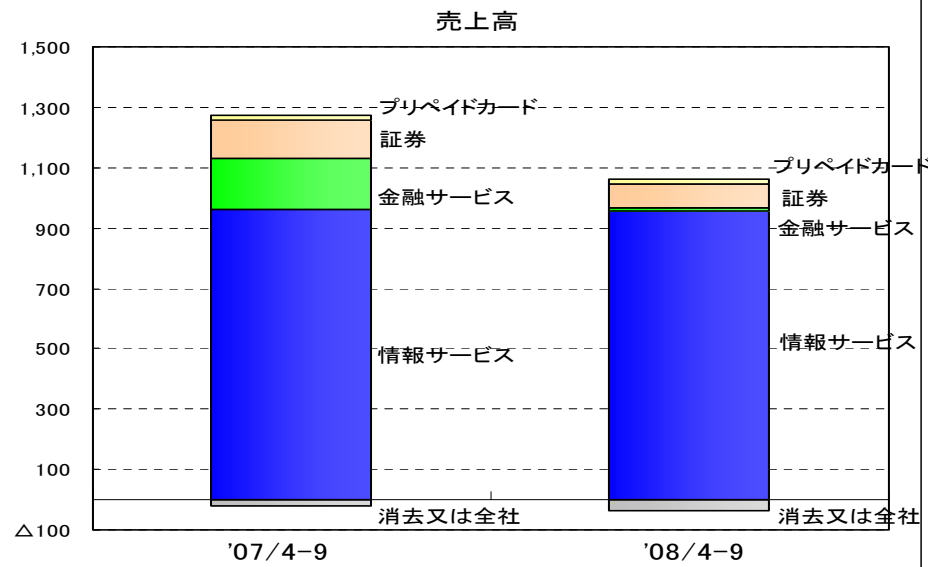
特別利益	'07/4-9	'08/4-9	前年同期比	備考
貸倒引当金戻入益	0.3	-	△0.3	過年度の貸倒設定債権のうち回収できたものに係る利益
事業譲渡益	-	4.9	4.9	子会社事業の譲渡益
金融商品取引責任準備金戻入益	-	7.1	7.1	金融商品取引法施行に伴う金融商品取引責任準備金の戻入益
受取賠償金	0.9	-	△0.9	保有有価証券発行会社からの受取賠償金
その他	0.1	2.7	2.6	投資有価証券売却益等
特別利益 計	1.4	14.9	13.4	
特別損失	'07/4-9	'08/4-9	前年同期比	備考
減損損失	1.8	19.2	17.4	子会社の事業用資産の減損等
投資有価証券評価損	10.9	-	△10.9	保有有価証券の評価損
証券取引責任準備金繰入額	1.2	-	△1.2	証券取引責任準備金の繰入額
金融先物取引責任準備金繰入額	0.0	-	△0.0	金融先物取引責任準備金の繰入額
事業再構築に係る損失	-	13.3	13.3	コスモ証券 事業再構築に係る損失
その他	1.3	11.8	10.4	固定資産除却損、貸倒損失、投資有価証券評価損等
特別損失 計	15.3	44.4	29.0	
特別損益 Net	△13.8	△29.4	△15.6	

(単位:百万円)

	'08/4-9計画	'08/4-9実績	計画比	増減率
売上高	104,000	102,869	△1,130	△1.1%
営業利益	△14,000	△15,668	△1,668	-
営業利益率	△13.5%	△15.2%	△1.8%	-
経常利益	△13,500	△14,621	△1,121	-
四半期純利益	△12,000	△15,517	△3,517	-

※計画は9月25日発表分

セグメント別業績

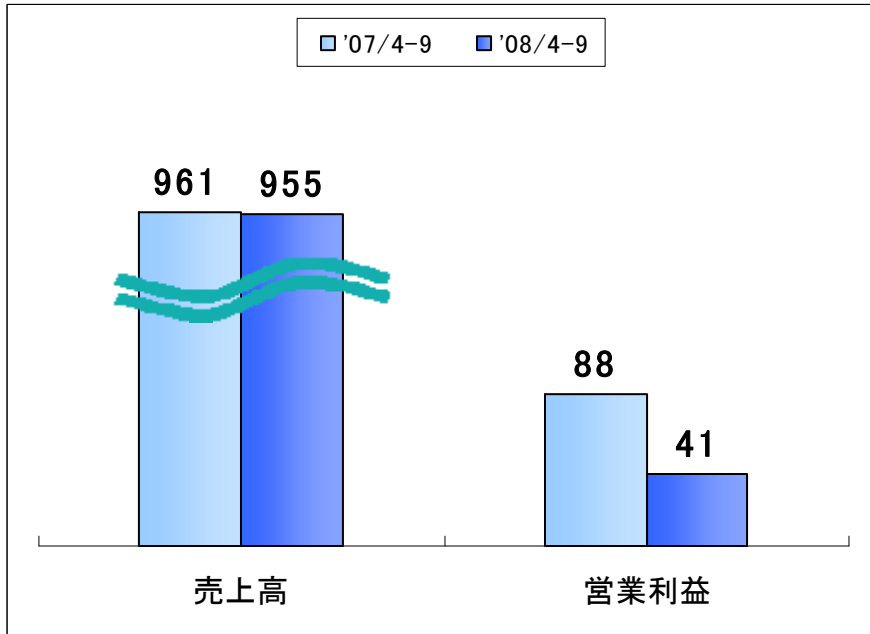


(単位: 億円)

	'07/4-9	'08/4-9	前年同期比	増減率
情報サービス事業				
売上高	961	955	△6	△0.7%
営業利益	88	41	△46	△53.0%
金融サービス事業				
売上高	171	12	△158	△92.5%
営業利益	134	△121	△255	-
証券事業				
売上高	127	81	△46	△36.1%
営業利益	△3	△42	△38	-
プリペイドカード事業				
売上高	12	13	1	9.1%
営業利益	△0	1	1	-
消去又は全社				
売上高	△19	△34	△14	-
営業利益	△27	△36	△9	-
合計				
売上高	1,253	1,028	△224	△17.9%
営業利益	191	△156	△348	-

情報サービス事業の業績(1)

(単位: 億円)



<情報サービス事業: 売上△0.7%、営業利益△53.0%>

サービスプロバイダーに向けた新規事業投資、データセンタ新設・増床に伴う減価償却費の増加や不採算プロジェクトの発生など影響に加え、ビジネスサービスを中心に収益性が悪化。

		'07/4-9	'08/4-9	前年同期比	増減率
CSK-SYS Grp ※ ¹ (再編各社合計)	売上高	592	591	△1	△0.3%
	営業利益	58	42	△16	△27.5%
JIEC	売上高	73	71	△2	△3.5%
	営業利益	7	7	△0	△1.0%
VERISERVE	売上高	43	39	△3	△7.8%
	営業利益	6	2	△4	△58.9%
SWC、CCO-Grp 合計 ※ ²	売上高	130	124	△6	△4.8%
	営業利益	9	3	△6	△64.6%
CSK-SS	売上高	63	54	△8	△13.2%
	営業利益	10	△0	△11	-
その他、連結消去 ※ ³	売上高	57	73	16	28.1%
	営業利益	△4	△13	△9	-
情報サービス事業	売上高	961	955	△6	△0.7%
	営業利益	88	41	△46	△53.0%
営業利益率		9.2%	4.3%	△4.8%	

※¹ 2007/7より再編のため合算ベース。

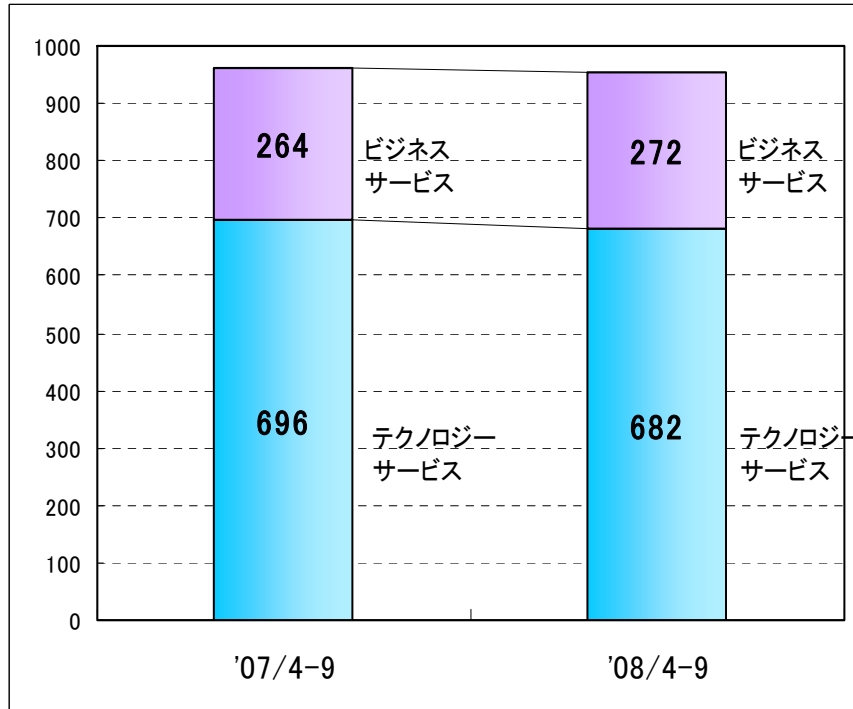
※² 2008/1より再編のため合算ベース。

※³ その他の会社業績と連結消去の合算値を記載。

情報サービス事業の業績(2)

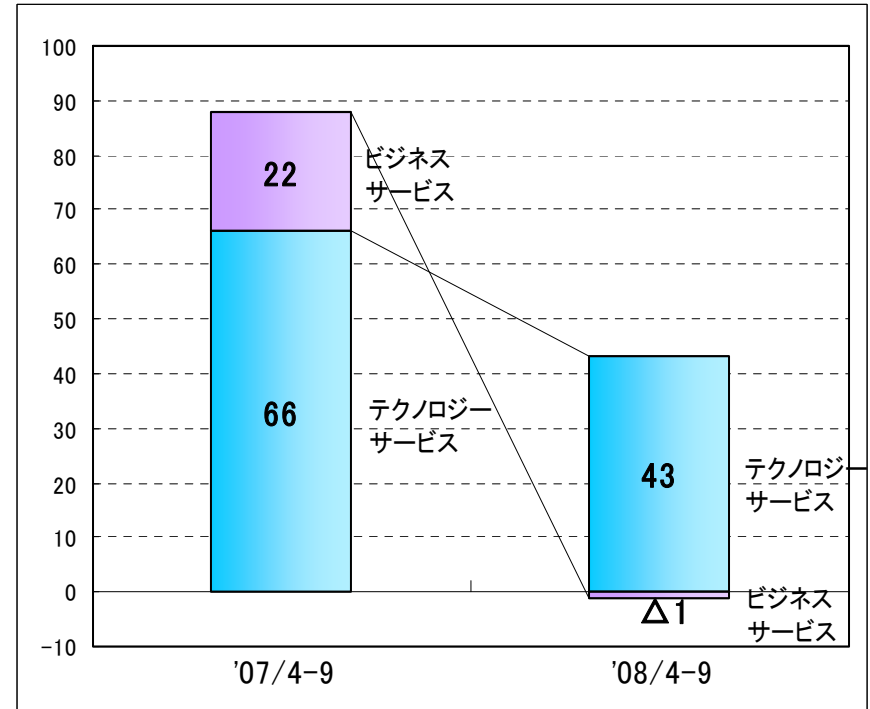
情報サービス事業 売上高

(単位:億円)



情報サービス事業 営業利益

(単位:億円)



○テクノロジーサービス:

売上: 金融・保険業向けシステムが順調に拡大するも、製造業・通信業向けの減少などにより減収。

営業利益: 戦略的事業投資やデータセンタ新設等に伴う減価償却費の増加、不採算プロジェクトなどの発生により減益。

○ビジネスサービス:

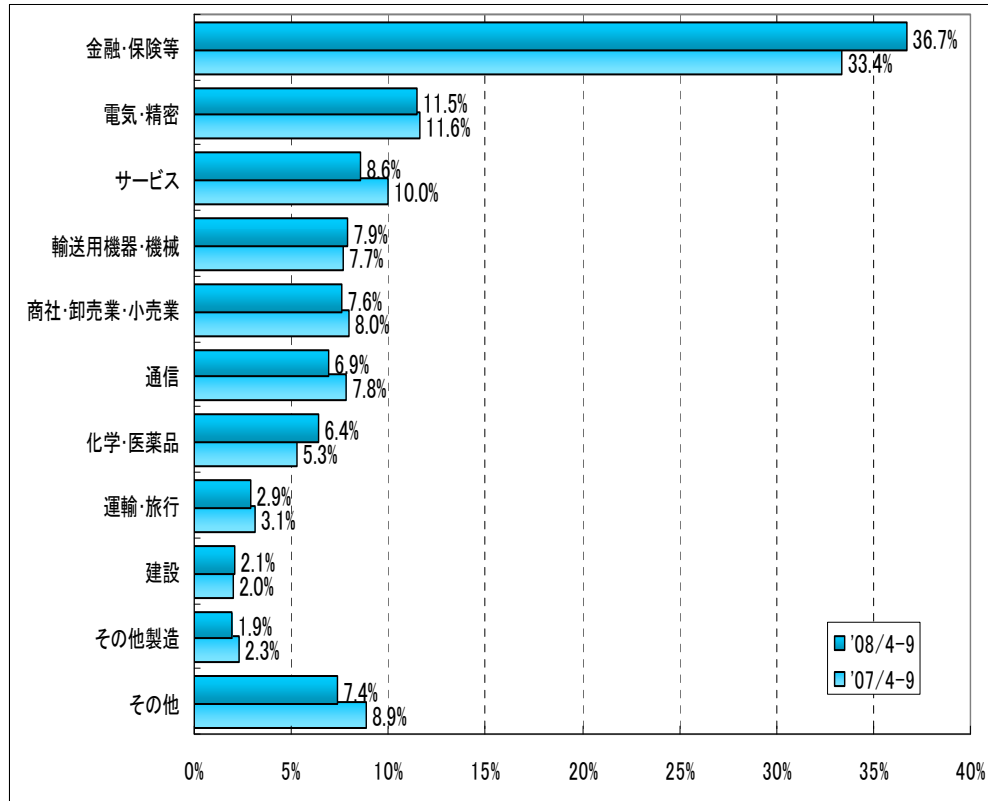
売上: 市況悪化やコスト削減・製品開発投資抑制の影響を受け、証券向けASP、テクニカルサポート、製品検証を中心に減収。

営業損失: 新規事業投資、採用拡大、営業力強化等の費用増により減益。

情報サービス事業の業績(3)

業種別売上推移

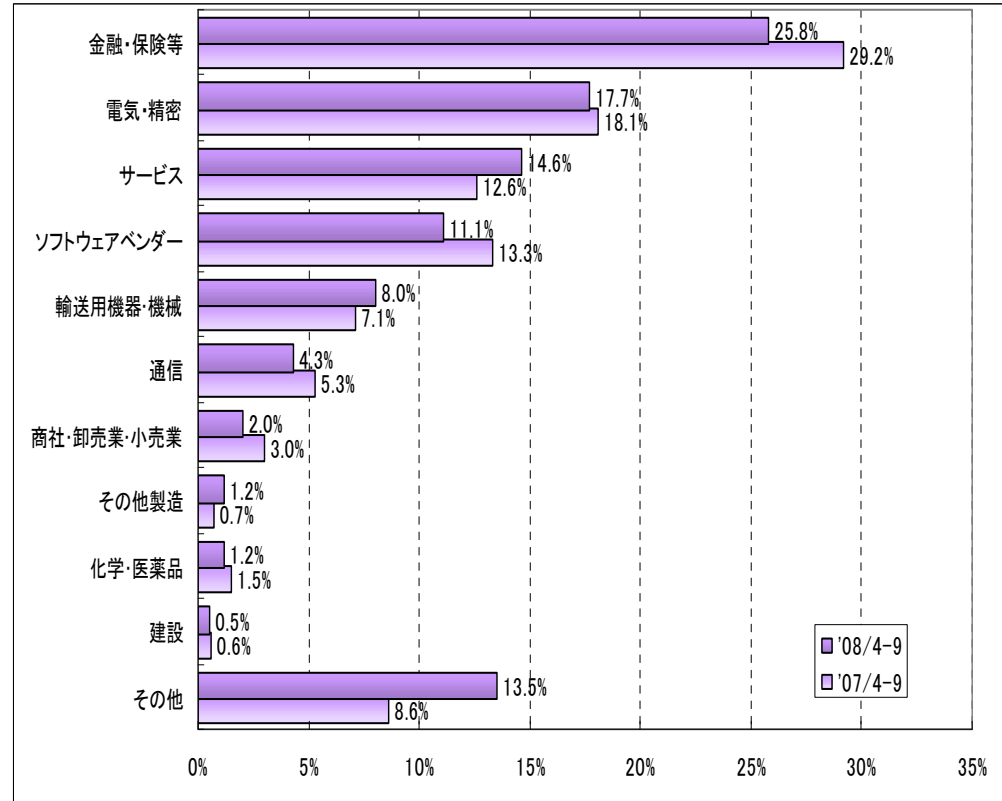
<テクノロジーサービス>



<テクノロジーサービス>

システム開発、システム運用、ITアウトソーシングなどのITサービス

<ビジネスサービス>



<ビジネスサービス>

テクニカルサポートなどのコンタクトセンター業務やその他のバックオフィスサービス

情報サービス事業の業績(4)

グループ会社の状況

(単位:百万円)

CSKシステムズ

<会社概要>

CSKグループの情報サービス事業の中核企業として、常にお客様の業務視点からASP、BPO、ITOなどを活用した業務プロセスそのものを担うサービスを提供。

<2009年3月期 第2四半期業績>

- 金融業界向け、特に銀行のシステム統合案件や生損保、カード通販向けのシステム再構築が牽引。
- サービスプロバイダー事業拡大に向けた新規事業投資の増加に加え、採用増による人件費増により減益。
- 金融業界を中心にBPOの引き合いが拡大。グループとの連携を図り、案件の獲得を目指す。

<2009年3月期見通し>

- 景気悪化により、下期についての不透明感は増大。金融業界において制度対応やシステム再構築など大型案件が予定されており、営業体制を強化して確実な受注を目指す。
- サービスプロバイダーに向けた事業化投資を継続。特定業界/業務向けサービスの具現化を進め、新たなビジネスを創造。
- オフショア/ニアショア活用規模の拡大、開発センターや開発ノウハウの積極的な活用により、さらなる生産性向上と収益性の改善を図る。

	'07/4-9	'08/4-9	増減率	2009/3
売上高	32,769	33,304	1.6%	70,322
営業利益	3,482	2,823	△18.9%	7,018
営業利益率	10.6%	8.5%	-	10.0%
経常利益	3,490	2,849	△18.4%	7,117
当期純利益	1,449	1,919	32.4%	4,785

※2007/7再編後の体制にて比較

JIEC

<会社概要> 2001年7月 東証2部上場(4291)

基盤技術をコアコンピタンスとして、難度の高い大規模なシステム構築の豊富な経験を活かしお客様が使いやすい、かつ信頼性の高い情報システムを提供。

<2009年3月期 第2四半期業績>

システム開発受注: 前期比 +3.2%

- システム開発は金融、運輸・旅行分野はほぼ前年並みを維持。他分野にて前年同期を下回り、売上は微減。
- 社員数増加や人材育成のための販管費は増加するも、プロジェクトマネジメント強化による生産性のさらなる向上により、営業利益率は昨年同期並みを維持。
 < 営業利益率 9.7% → 10.0% >

<2009年3月期見通し>

システム開発受注残: 前期比 +18.9%

- 保険業向けは引続き堅調な推移が見込まれるが、景気不透明感増大によるIT投資意欲の減退に備え、SEの適正配置などリソースコントロールの一層の強化に努める。
- 受注環境が厳しさを増す中、強みの基盤技術を活かし金融や運輸・旅行分野など既存顧客向けの案件拡大に注力。
- 技術教育に加え、営業力強化など人材育成の投資を継続。イベントへの出展やセミナー開催などを引続き積極的に行い、知名度の向上を図る。

	'07/4-9	'08/4-9	増減率	2009/3
売上高	7,395	7,135	△3.5%	16,000
営業利益	718	711	△1.0%	1,600
営業利益率	9.7%	10.0%	-	10.0%
経常利益	726	734	1.0%	1,600
当期純利益	424	422	△0.4%	920

ログ統合・証跡管理SaaS「Log Shelter」

内部統制対応で必要となるログの取得、保管、分析をSaaS型で提供。企業価値向上に寄与するログ活用の中核としての「SaaS」活用や導入企業の事例紹介などセミナーを開催中。

情報サービス事業の業績(4)

グループ会社の状況

(単位:百万円)

ベリサーブ

<会社概要> 2007年12月 東証1部に指定替え(3724)
第三者の立場から各種IT製品やシステムに組み込まれるソフトウェアのテスト・評価を行うシステム検証サービスの専門企業。

<2009年3月期 第2四半期実績>
・景況感悪化によるメーカーの開発コスト引き締めの影響を受け減収。採用や人材育成、内部管理体制強化に向けた費用が増加し減益。
◀製品検証サービス主力3分野▶
ITS関連……ECU分野の需要取り込みで増収となるも、メーカーの生産体制見直しにより伸びが鈍化
AV機器……北京オリンピックに向けた開発ラッシュが終了
携帯電話……買換えサイクルの長期化。
次世代向け携帯電話開発の端境期

<2009年3月期見通し>
・景気先行き不透明の中、メーカーのコスト抑制は継続。今期は新製品の開発サイクルの見直しなど、厳しい環境が予想され、通期業績の見直しを修正。
・一時的な業務量の減少はあるものの、メーカーの品質管理に対するニーズは依然高水準。高度な検証技術を武器に既存顧客との関係を強化し、新規顧客の開拓に注力。
・競争力強化のための技術革新や人材育成の投資は継続。
通期業績の修正: 売上 93億→77億、営業利益 14.2億→5億

	'07/4-9	'08/4-9	増減率	2009/3
売上高	4,323	3,986	△7.8%	7,700
営業利益	695	285	△58.9%	500
営業利益率	16.1%	7.2%	-	6.5%
経常利益	702	292	△58.4%	510
当期純利益	415	150	△63.9%	250

システム検証セミナーを開催
ソフトウェア開発における検証の重要性のアピールと自社の知名度向上を目的にシステム検証セミナーを開催。約500名が参加。

サービスウェア・コーポレーション & CSKコミュニケーションズ

<会社概要> サービスウェア・コーポレーション
コンタクトセンター運用、バックヤード業務などのビジネスプロセスを、環境変化に応じて常に改善し最適化していく業務アウトソーシングソリューションを提供。

<2009年3月期 第2四半期実績>
サービスウェア・コーポレーション
・既存顧客向けは堅調となるも、新規案件獲得の遅れや、営業力強化のための投資や横浜BPOセンター開設の費用が増加し、減収減益。
CSKコミュニケーションズ
・市況悪化の中でハード・パッケージベンダーのコスト削減の動きが一層強くなり、テクニカルサポートへの価格圧力、より低価格なベンダーへの移行などの要因で受注が低迷。
・生損保や流通業向けの業務ヘルプデスクは好調に推移。

<会社概要> CSKコミュニケーションズ
グループ内のテクニカルサポート系事業を集約・統合。テクニカルサポート事業における専門性を追求し、グループ内の各種機能と連携し、お客様の競争優位を生み出すサービスを提供。

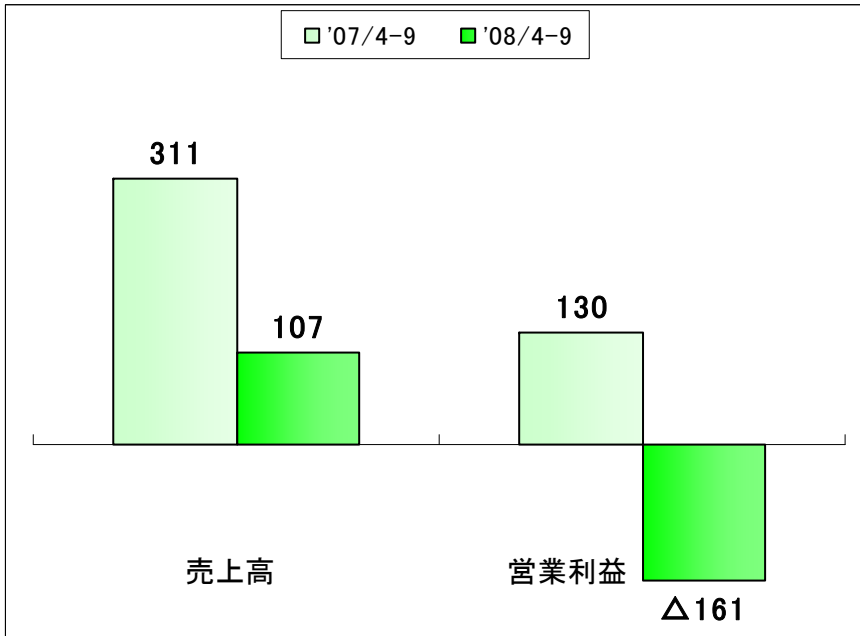
<2009年3月期見通し>
サービスウェア・コーポレーション
・既存のバックオフィス業務の拡大を維持しつつ、今後の事業拡大に向けた新規案件の獲得に注力。上期に複数の新規案件を獲得。下期は営業力を一層強化し、顧客のフロント業務に関わる新しいBPOサービスの展開を推進。
CSKコミュニケーションズ
・景気不透明感によりハード・パッケージベンダーのコスト削減は継続。既存顧客向けは売上減少見込み。
・業務ヘルプデスクの拡大、デジタル家電分野などのハイエンドなテクニカルサポートの需要の取り込みに注力。

	'07/4-9	'08/4-9	増減率	2009/3
売上高	13,077	12,451	△4.8%	26,242
営業利益	952	337	△64.6%	1,172
営業利益率	7.3%	2.7%	-	4.5%
経常利益	1,006	419	△58.3%	1,263
当期純利益	590	345	△41.5%	720

※グループ再編によりSWC、CCO合算で記載

SWCとCSK-MKTを再編し、さらなる専門性強化を図る
CSK-MKTのCRM関連事業(金融分野向け以外)をSWCに移管・統合。SWCはアウトバウンド機能をさらに強化することでプロセスサービスにおけるサービスレベルの向上を図り、CSK-MKTは金融分野向け事業に特化する。

金融サービス関連事業の業績(1)



(単位:億円)

		'07/4-9	'08/4-9	前年同期比	増減率
金融サービス事業	売上高	171	12	△158	△92.5%
	営業利益	134	△121	△255	-
証券事業	売上高	127	81	△46	△36.1%
	営業利益	△3	△42	△38	-
プリペイドカード事業	売上高	12	13	1	9.1%
	営業利益	△0	1	1	-
金融サービス関連事業	売上高	311	107	△203	△65.3%
	営業利益	130	△161	△292	-

※ 金融サービス関連事業 = 金融サービス事業、証券事業、プリペイドカード事業の3つの事業を合わせた総称

<金融サービス関連事業: 売上 △65.3%、営業損失 △161億円>

ー金融サービス事業:

2008/3期1Qに案件の精算が集中したことに加え、今期予定していた大型案件の精算が遅延。

市況悪化により、有価証券や保有不動産の評価損が発生し、対前年比大幅な減益。

ー証券事業

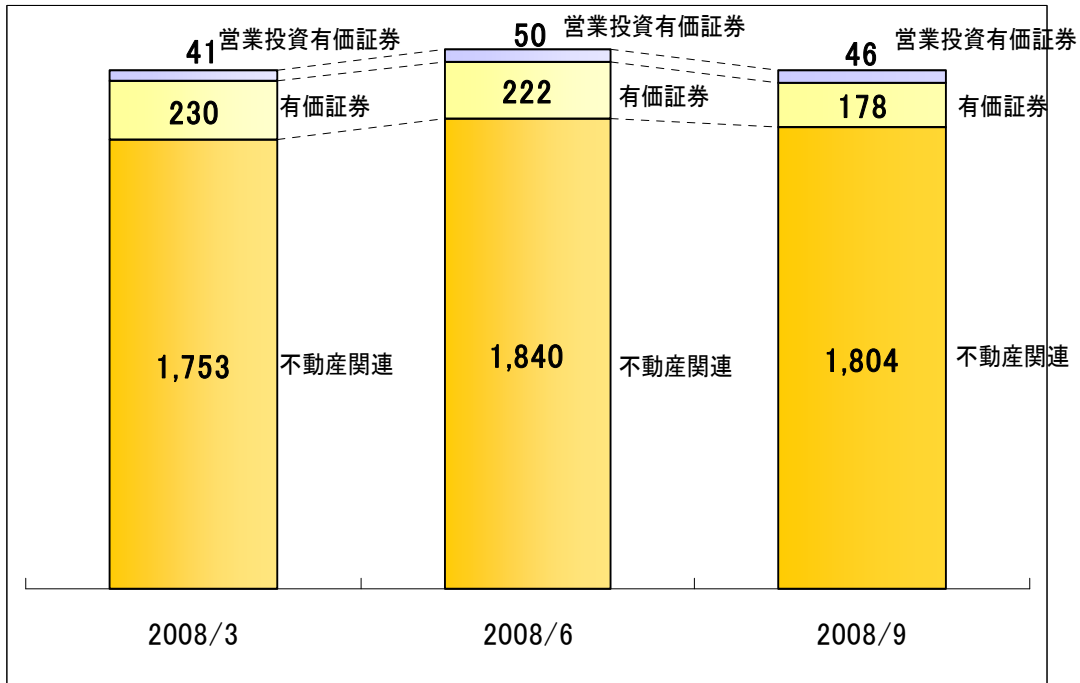
株式市場の低迷による株式委託手数料の減少やトレーディング収益の減少により減収。不採算事業から撤退し、コスト削減を徹底するも、カバーできず。

ープリペイドカード事業

販売促進ツールや株主優待などのギフト需要拡大に加え、会計方針の変更により増収。

金融サービス関連事業の業績(2)

金融サービス事業の投資残高推移



(単位: 億円)

	2008/3	2008/6	2008/9	%
営業投資有価証券	41	50	46	—
金融サービス運用資産	1,984	2,062	1,983	100%
有価証券	230	222	178	9.0%
不動産関連	1,753	1,840	1,804	91.0%
金融サービス負債	443	441	317	

キャッシュ・フロー



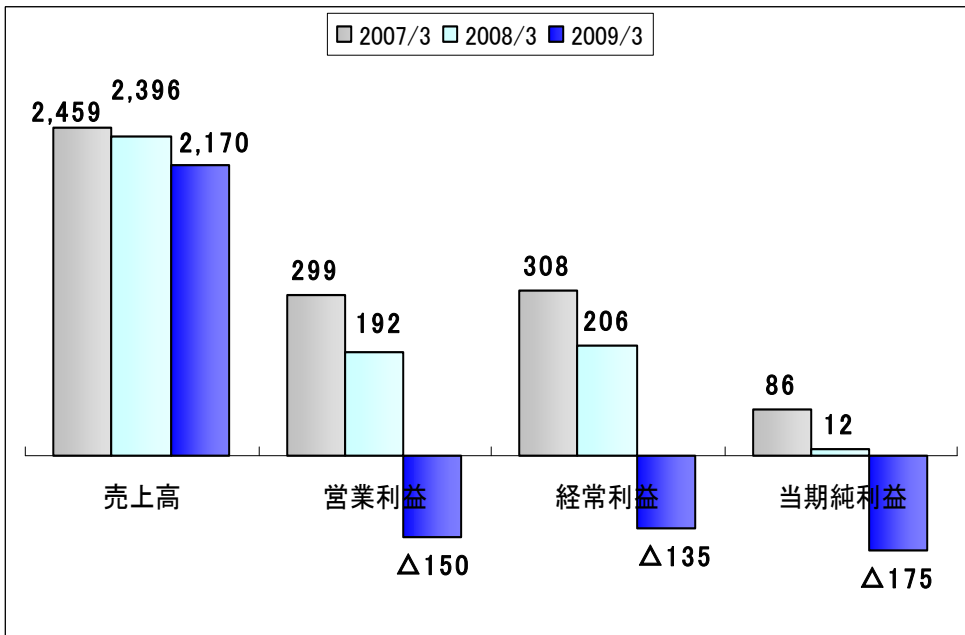
(単位:億円)

	'07/4-9	'08/4-9	前年同期比	備考
営業キャッシュ・フロー	△69	△252	△183	営業損失、金融サービス運用負債の減少等
投資キャッシュ・フロー	△174	△55	119	2007/09:事務所設備、CSK多摩センターの設備取得等
財務キャッシュ・フロー	△15	178	194	借入金の増加等
キャッシュ・フロー 計※	△259	△129	130	
現預金残高	794	462	△331	

※：換算差額含む。

通期業績予想

(単位: 億円)



	2007/3	2008/3	2009/3 予想	前期比	増減率
売上高	2,459	2,396	2,170	△226	△9.4%
営業利益	299	192	△150	△342	-
営業利益率	12.2%	8.0%	△6.9%	△14.9%	-
経常利益	308	206	△135	△341	-
当期純利益	86	12	△175	△187	-

(単位: 円)

	2007/3	2008/3	2009/3 予想	前期比
1株当たり利益	117.35	17.34	△227.18	△244.52